

羅針盤			達成度			改善状況のまとめ	学校関係者評価	次年度の課題	
評価対象	評価項目	具体的数値項目	①	②	総合				
Ⅰ 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	①自分の学校が好きだと感じている生徒の割合は80%以上である。	A	A	A	生徒の活躍の場を提供すべく、感染症対策を徹底しながら、学校行事を実施し、生徒対教諭、生徒対生徒のコミュニケーションが実現できる場面を多く設定する。部活動を通して根気強く努力する力の育成を図る。	教職員や生徒のコロナの中での頑張りを大変重く受け止めている。将来構想委員会などの新たな取り組みについても敬意をもっている。同窓会として部活動の活躍に対し、報奨制度等の設立を考えている。	所属意識を高め、桐商生としての誇りを持てるよう、生徒が自信を有することのできる取組を行う。運動部、文化部ともに充実した部活動ができるよう学校全体で推進する。	
		②部活動を推進している本校の取り組みに所属生徒の75%以上が積極的である。	A	A	A				
Ⅱ 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	③「授業が分かりやすい」と生徒の80%以上が答えている。	A	A	A	生徒の実態に応じた指導方法を研究し、授業に対する意識の向上を図る。取得した資格が将来どのように生かされるかを具体的にイメージさせる工夫を行う。朝学習や学年補習を実施し、学習につまづきのある生徒に対してサポートを早期に展開する。また、基礎学力定着のための進路学習教材を活用し、家庭学習の習慣化を目指す。	きめ細かな学習指導がなされており、この学校に入ってよかったと思っている生徒が多い。生徒が少しでも達成感、満足感を持てるような工夫をした授業の取り組みを考えていくことが必要であると思う。	資格取得を通して達成感、満足感を得られるような指導を工夫する。資格取得のみにとらわれることなく、生徒が将来役立てることのできる実践力を身に付けさせる指導を展開する。生徒の理解を促せるツールとしてICTを有効活用できるよう、授業づくりの研究を継続的に実施する。	
		④資格取得を学習の動機づけの一つとして奨励し、より高度な資格取得を目指す。	A	A	A				
	3 生徒は確かな学力を身につけていますか。	⑤学習に対する達成感・満足感をもっている生徒が75%以上である。	A	A	A				
		⑥授業以外の自主学習の平均時間が、1日1時間以上である。	B	A	A				
Ⅲ 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑦学年会議・校務運営委員会・職員会議等で生徒に関する情報交換を毎週実施し、教職員の連携強化を図っている。	B	A	A	各種会議で情報共有の重要性の認識を図り、チームとしての学校運営を行う。また、生徒の個に応じた対応をすべく教職員とスクールカウンセラーが一体となった指導を目指す。校内の美化に努めるとともに消毒を実施し、新型コロナウイルス感染症防止対策を今後も続ける。いじめについては、十分な見守りを行い、早期発見、早期対処を心掛ける。一日の始まりを落ち着いて迎えるための朝読書は、遅刻防止に役立っている。今後も継続する。	先生方の元気がほしい。学校生活全般を通して、先生方の元気が学校を活性化させていく元である。新たに立ち上げられた将来構想検討委員会で桐商が新しく生まれ変わることを期待している。SNS関連のトラブルが気になる。学校でも指導されているが、家庭における指導をさらに徹底していかなければならないと考える。いじめが陰湿化してきており、対応の難しさを感じている。	全職員間で一致した認識のもと、足並みのそろった組織運営を行うため、コミュニケーションの強化を図る。生徒の実態把握に努め、個に応じたきめ細かい指導の推進を図る。また、多様化する生徒の情報を共有し、教職員とスクールカウンセラーの更なる連携とサポート体制の強化に努める。アンケートや面談等でのいじめやコロナ禍で悩みを抱える生徒の早期発見、早期対処に心がける。校内美化に努めるとともに、新型コロナウイルス感染症防止について気を抜かずに対応する。	
		⑧生徒会行事や各種専門委員会など、生徒会活動が充実していると評価した生徒が70%以上である。	A	A	A				
		⑨校内の美化・安全点検を各学期に1回以上実施している。	A	A	A				
	5 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていますか。	⑩「学校は、いじめ防止や早期発見に向けて取り組みを積極的に行っている」と認識している生徒が85%以上である。	A	A	A				
		6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	⑪家庭との連携を密にして欠席率・遅刻率が1.0%以下である。	B	B				B
			⑫挨拶や服装、遅刻防止指導など学校の生活指導は充実していると感じている生徒が85%以上である。	A	A				A
Ⅳ 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	⑬学校から提供される進路情報が役立っていると評価する生徒が80%以上である。	A	A	A	進路ガイダンスや3年生が自らの進路実現の体験を語る会を実施し、1・2年生の進路に対する意識を高める。各ホームルームや各教科等、学校生活全体で生徒が進路意識を向上できるように職員間の連携を強化する。各学年に応じた進路指導を進路指導部と学年が連携して行う。今学習していることがどのように将来生きてくるのかを理解させて積極的に取り組ませる工夫を行う。	桐商の生徒は頑張り屋さんが多い。4月に入社した生徒がこの1年で大きく成長したことを感じるが、その背景には高校時代に身に付けられた社会人基礎力があると実感している。個に応じたきめ細かな進路指導によりミスマッチが防げていると同時に、個々の進路実現が図られている。	進路ガイダンスや3年生と語る会を継続して実施し、低学年から進路に対する意識を高めていく。進路アンケートを通して、生徒の進路意識の醸成、希望の早期把握を行い、キャリア形成に主体的に取り組めるように指導する。今年度、新型コロナウイルス感染症防止のため実施が難しくなっている就業体験の代替として、職業観や勤労観を身に付けさせる講演等を計画し、実施する。	
		⑭進路通信を年間10回以上発行し、生徒・保護者へタイムリーな情報を提供している。	A	A	A				
	8 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	⑮「自己の生き方」と「将来の職業」との関連について真剣に考えている生徒が80%以上である。	A	A	A				
		⑯進路実現に向けて積極的に取り組んでいる生徒が80%以上である。	A	A	A				
Ⅴ 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑰学年別保護者会に積極的に参加している保護者が95%以上である。	B	B	B	多くの保護者が参加出来るように内容や実施時期、実施方法を工夫する。生徒が課題研究や総合実践、各教科等で学んだ内容を地域住民に伝えられるような取り組みを検討する。	地域は桐商に関心を寄せている。生徒の活躍がメディアに取り上げられるようにしてほしい。	受検生や地域の方々の方々の目線で、本校について知ってもらいたい情報を発信していく。「桐商たより」が地域の方々への情報発信ツールとして有効であり、今後も継続する。	
		⑱学校説明会、オープンスクール、保護者参加事業等で学校の教育活動を理解できたと感じる参加者の割合が90%以上である。	A	A	A				

羅 針 盤			達 成 度			改 善 状 況 の ま と め	学 校 関 係 者 評 価	次 年 度 の 課 題
評 価 対 象	評 価 項 目	具 体 的 数 値 項 目	①	②	総 合			
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	10 ICTを活用した指導を行っていますか。	⑱ ICTを活用した授業に、生徒の80%以上が満足している。	B	A	A	1人1台端末となり、各教科において積極的な活用が図られている。次年度は、オンライン授業を想定した教材研究を行う。 Webページの更新頻度を高め、鮮度の高い情報を学校関係者に迅速に提供できる態勢が築けている。 業務効率化を図るため、校内ネットワークの再構築、環境整備を行う。	教員がOJTによるICTスキルの向上を目指すとともに、タブレットを授業で効果的に活用する方法を研究してほしい。 校内の取り組みを校外に発信することで、学校の魅力を高めるとともに、教育活動のディスクロージャに努める。 業務改善の一環として、業務のペーパーレス化、ICT化を促進してほしい。	タブレットを活用した授業展開や生徒が自ら意欲的に学習に取り組める教材を作成できるように研修を行う。 Webページの更新頻度を高められるよう、情報管理部を中心に分掌間で情報共有を促進し、積極的にアップロードを行う。 ICT化を図れる部分について検討・整理していく。
	11 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	⑳ふれあいメールや本校webページを活用した通知に、生徒・保護者の80%以上が満足している。	A	A	A			
		㉑校内ネットワークを活用した生徒情報や教材等の共有により、業務が効率化されたと感じている職員が70%以上である。	B	B	B			